

道徳科学習指導案

指導者 T1 宮部 英巳
T2 安平 亮介

- 1 日時 令和元年 10月8日(火) 第6校時
- 2 学年 中学校第1学年 26名(男子10名, 女子16名)
- 3 場所 吉舎小学校 集会室
- 4 主題名 誠実な生き方【内容項目A 自主, 自律, 自由と責任】
- 5 ねらい 正直に報告しようとする気持ちと友達との関係で迷う主人公の姿から, 誠実に生きようとするときに大切なことを考えることを通して, 自分の行動に責任をもち, 自らを律し, 誠実に生きようとする判断力を育てる。
- 6 教材名 「裏庭のできごと」 【生きる力 日本文教出版】

7 主題設定の理由

○主題観・価値観

自分の行為に対しては, 責任をもたなければならない。なぜなら, それが人の信頼を得ることにつながるからである。そして, その人からの信頼が, 人に生きる喜びを与えてくれる。自ら考え, 実行し, 自己の行為の結果に責任をもつことが, 生きるうえでの基本的な態度である。人は簡単に周りの考えに同調してしまったり, 目先のことばかりに気をとられ, ごまかしてしまおうとしたりすることがある。私たちの行為は自由ではあるが, 生じた結果に責任をもたなければならないことに気づかせるとともに, 誠実に生きようとする態度を育てることが必要である。

中学生の時期は, 相手のことを深く考えず, 自己中心的な言動をとる生徒もいる。特に1年生では, そうしたことが原因でトラブルが発生しやすい。また, 間違っていると感じてはいるものの, 周りの目を気にして正しい行動がとれない生徒も少なくない。

そうした経験を思い出させ, 誠実な生き方が人に充実感や人間としての誇りを与えることを実感させ, 責任ある行動がとれるように本主題を設定した。

○生徒観

省略

○教材観・指導観

本教材は, 遊んではいけない裏庭で主人公がガラスを割ってしまうが, 一時の情動に流され, 事実を言えずに思い悩む場面が設定されている。中学校での日常生活を扱っているので, 生徒にとっては身近に感じるとともに, 内容理解も深まる教材である。誠実な生き方とはどういう生き方なのか, よりよく生きるためには何が必要なのかなどを, 主人公・健二の姿をとおしてより深く考えさせたい。

8 指導のポイント

主体的・対話的で深い学びの授業づくり【**きさの未来**】

○ **ステップ1** 『問いをもつ』

〈導入の工夫〉

・自身の体験を想起させて教材と自分との関連を図り, 自分だったらどうするかと考えながら, 生き方の問題について探究しようとする意欲を高めさせる。

○ **ステップ2** 『考えをあきらかにする』

〈中心発問へのアプローチ①〉

・健二が迷っている場面を整理し, 自分の事として考えさせる。その後, 迷ってしまう理由を考えさせる。

○ **ステップ3** 『さらに問いをもつ』

〈中心発問へのアプローチ②〉

・グループでの話し合いの中の異なる意見に接する中で, 疑問に思ったことは出し合い, 思いを伝え合わせる。

○ **ステップ4** 『**未来**に広げる』

〈自分の生活へつなげる工夫〉

・本時のねらいである「誠実に生きる」ということについて自分の考えをまとめさせる

9 心の吉き舎りプログラム

心の吉き舎りプログラム名	「一人一人の力を結集して！」	
めざす資質・能力	共感力・コミュニケーション能力・表現力	
めざす児童・生徒像	人の気持ちを考えて親切にできる子 友達と力を合わせる子 地域を大切に思う子	A…自主, 自律, 自由と責任 C…郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度 C…国際理解・国際貢献
ねらい	文化祭や「きさ教育の日」の劇や合唱づくりを通して, 自己の責任を果たしながら, クラス全員が自己の力を発揮し合い, 協働することの歓びと, 観る側に感動を共有してもらおうとする道徳的実践意欲の育成	

「一人一人の力を結集して！」

時期	過程	意識の流れ	教科 (知識・理解) 道徳科 (人間性の涵養) 領域 (思考・判断・表現力)
9月	発見	広島平和記念館での平和学習で過去の人間の過ちを再確認する。「人間には愚かさも醜さもある」	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 特別活動 (知・理) 平和記念公園資料館見学 平和の誓い </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 社会科 (知・理) 世界の国々 (アジア諸国) を知る </div> </div>
	気付き	平和な世界, 安心な社会を築くために, 自分たちにできることがあるのでは。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 道徳科 教材名「花火に込めた平和への願い」 C 国際理解・国際貢献 【ねらい】 国際的視野に立って, 他国を尊重することと世界平和の大切さを理解するとともに, よりよい社会形成や人類の発展に貢献しようとする実践意欲を高める。 </div>
10月	思考	文化祭で劇を成功させるためには, それぞれが自分の役割を果たし, だれもが自分の力を十分に発揮できないといけない。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 音楽科 (知・表) 合唱「HEIWA の鐘」パートの役割 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 特別活動 (思・判) 文化祭の目標や課題を持つ。 </div> </div>
	実践意欲	それぞれの思いの中で, 嫌な思いしている人はいないか, 自分勝手になっていないか, 文化祭目標に向かっていくかを再確認しよう。どうしたら, うまくいくか具体的な練習方法を考えて, 行動化しよう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 道徳科【本時】 「裏にはでのできごと」A-(1) 自主, 自律, 自由と責任 【ねらい】 正直に報告しようとする気持ちと友達との関係で迷う主人公の姿から, 誠実に生きようとするときに大切なことを考えることを通して, 自分の行動に責任をもち, 自らを律し, 誠実に生きようとする判断力を育てる。 </div>
11月	実践意欲	文化祭やきさ音楽祭での発表をいかして, 吉舎に来られた外国の方を「おもてなし&ピースメッセージ」がしたい。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 音楽科 (思・表) 合唱「HEIWA の鐘」豊かな響き・表現の工夫。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 特別活動 (思・表) 劇をつくりあげよう。 </div> </div>
		文化祭やきさ音楽祭での発表をいかして, 吉舎に来られた外国の方を「おもてなし&ピースメッセージ」がしたい。 →インターナショナルディに来られる外国の方におもてなし企画を作成しよう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 道徳科 教材名「篠崎街道」C) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度 【ねらい】 自分たちが生活している郷土をつくり上げた伝統と文化に思いを寄せ, 地域の一員としての自覚をもち, 郷土を愛する心情を育てる。 </div>
			<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 特別活動 (思・表) 「全校合唱」一人一人の力を発揮して, 豊かな歌声を地域の人たちに届けよう! </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 総合的な学習の時間 (思・判・表) もてなし企画を作成・実施しよう。 </div> </div>
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 道徳科 教材名「違いを乗り越えて」C) 国際理解, 国際貢献 【ねらい】 日本の習慣や文化のよさを理解するとともに, 他国の人々や文化に対する理解を深め, 尊重しようとする意欲を高める。 </div>

10 準備物 道徳教科書、道徳ノート

11 学習展開

	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の心の動き (◎中心発問)	T 1	T 2	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入	1 ふだんの生活体験を振り返る。 【問いをもつ】	○ 失敗したとき、どんなことを考えるか。	発問 交流	観察	○ 教材への興味関心づけ程度に留める。
展 開	2 教材「裏庭でのできごと」を読み、考える。 (1) 問題を発見し、整理する。 【考えをあらかじめにする】	○ 健二は、英語の授業中、どんなことを考えていただろう。 ・裏庭でボールを蹴ってガラスを割ってしまった。 ・正直に報告できなかった。 ○ 大輔から「俺を出し抜いて先生のところになんか行くなよ。」と言われたとき、健二はどんなことを考えていただろう。 ・正直に言うと、大輔との関係が悪くなるかもしれない。 ○ 健二は、鏡に映った自分の姿を見たとき、どんなことを考えていただろう。 ・大輔とは、もう友達ではなくなるかもしれない。 ・自分がどうするかが大切なのではないか。	板書 発問 個人で 記入 個人 発表 発問 個人で 記入 個人 発表 発問 個人で 記入	範読 実態把握 板書 実態把握 板書	○ 健二の迷いはどこから生じるのか、人間だから迷ってしまうことを考えさせる。 ○ 大輔との葛藤がさらに深まり、問題の深刻さに揺れる健二の心情をさらに考えさせる。 ○ 鏡に映った自分の姿を見たとき、「大輔からどう思われるかを考えても、それを知ることなんか不可能」に着目させ、誠実について生徒一人ひとりに考えさせる。
	(2) 各自の疑問を出し合い、話し合う。 【さらに問いをもつ】	◎ 健二が鏡に映った自分を見たとき、どんなことを考えていたのかを話し合おう。 ・誠実に生きることが、後悔しない生き方だ。 ・自分自身が、自分のことをしっかり見ることが大切。	班での グループ 協議 発表	実態把握 板書	○ 多様な意見をとりえさせるために考えたことをもとに、グループごとに話し合わせる。その後、話し合いの内容を学級全体で共有する。
	3 自分の生活を振り返る。 【未来に広げる】	○ 自分で自分の態度を決めなければならない場面に直面したとき、後悔しないために自分ができることは何だろう。 ・自分に嘘をつかずに生きること。 ・相手の気持ちを考えたうえで、自分の気持ちに素直に生きること。	ノート に記入	実態把握	○ 本時のねらいである「誠実に生きる」ということについて考えをまとめさせる。
終末	4 教師の説話を聞く。	誠実に生きることが後悔しない生き方になる	説話		○ 人間は、自分をごまかそうとしてもごまかせるものではないということを考えられるようにする。

誠実に生きる

裏庭のできごと

顔絵
健二

顔絵
大輔

顔絵
雄一

○健二が英語の授業中考えたこと

・正直に報告できなかった。

○大輔から言われたとき

・大輔との関係が悪くなるかも。

★健二が鏡に映った自分の姿を見たとき

場面絵
(教科書
p.150)

・今の自分でいいのか、自分を問い返した。

・誠実に生きることが、後悔しない生き方だ。

・自分自身が、自分のことをしっかり見ることが大切。

○自分で自分の態度を決めなければならぬとき、後悔しないように自分ができることは

・自分に嘘をつかずに生きる。

・相手の気持ちを考えたうえで、自分の気持ちに素直に生きる。